

■ ■ 嚥下（えんげ）リハビリテーションについて ■ ■

リハビリテーション科 中空 智子

嚥下（えんげ）とは、口の中の食物を胃に飲み下すことをいいます。脳卒中などの病気や老化で飲食物をうまく飲み込めなくなったり、誤って気管に入った物を吐き出せなくなったりすると、肺炎、低栄養、脱水、窒息など生命の危険に直結します。また、食べることの障害は、食べる楽しみを失うという生活の質の観点からも重要になります。90歳以上の男性では死因の第一位が肺炎で、その3割～5割が誤嚥性肺炎とされています。

嚥下リハビリテーションでは、患者さんが安かつ楽しく生活できるよう、栄養摂取の方法を確立することを目指します。患者さんにとって安全で快適な摂食状態をつくり、生活の質の向上を図ることが嚥下リハビリテーションの最大の目標です。

当院では、食事摂取で起こりうる肺炎や窒息などに注意しながら、患者さんの食べる楽しみやご家族の要望を十分考慮して、医師、看護師、言語聴覚士、栄養師、薬剤師などの多職種がチームとなって取り組んでいます。特に、急性期脳卒中で入院中の患者さんに対しては、休日も言語聴覚士が対応することにより、食事開始までの期間が平均で約1.5日短縮しており、嚥下リハビリテーションの効果を認めています。

嚥下リハビリテーションでは

- 口の中の掃除とその方法の指導
- 噛む能力、飲み込む能力の評価
- 食事摂取に関わる筋肉のトレーニングとその方法の指導
- 少し顎を引くなど、飲み込み方の指導
- 小さく刻んだり水分にとろみをつけたりなど、食べ物の種類や形の調整
- 小さいスプーンを使うなど、食事摂取や介助の仕方の指導

などを行っています。

平成28年12月からは、摂食・嚥下障害看護認定看護師が在籍し、病院をあげて更なる質の向上を図っています。

お知らせ

● ノルディックウォーク倶楽部

第2土曜日開催

日時 平成29年 3月11日(土) 14:00～
平成29年 4月 8日(土) 14:00～

場所 三宿病院集合

世田谷公園周辺で実施します。



● ロコモ美立体操

(主催：クリスタルスポーツクラブ)

日時 平成29年 3月15日(水) 18:00～19:00
平成29年 4月19日(水) 18:00～19:00

場所 せたがや がやがや館 4階運動室

料金 540円(税込)

講師：渡會 公治先生

帝京平成大学ヒューマンケア学部 教授
三宿病院整形外科 医師

